

和楽荘 暮らし



社会福祉法人 和楽会

2020年5月(51号)
発行者
介護老人福祉施設
和楽荘 / 広報委員会
広島市安佐南区伴西5丁目
1432番地1
TEL 082-848-5000
FAX 082-848-4579
URL
<http://www.warakusou.or.jp>
Eメール
info@warakusou.or.jp

恵まれた自然環境の中で生きがいと潤いのある生活を!



和楽荘の春



今年も和楽荘周辺は、見事な桜が咲きました。

例年たくさんのお花見見物の方が来られるのですが、今年は本当に少なく...

和楽荘の入居者様にも、室内や屋上から見ていただいただけとなりました。

駐車場の法面や、庭の片隅に、小さな春をたくさん見つけました。イチゴの花にパンジーやプリムラが見事に咲いています。5月の風に揺られて、こいのぼりも心地よさそうです。和楽荘のあちこちに、ツバメたちが巣作りを始めました。

和楽荘の春は、今年も穏やかに美しく訪れています。



マスク寄贈



新型コロナウイルスの影響で、マスクの需要が高まり、福祉施設においてもマスク不足の状態が続いております。

こうした中、伴学区社会福祉協議会では手作りのマスクを作り、福祉施設に配布するといった取り組みを開始されました。

和楽荘も、5月4日に伴学区社会福祉協議会の伴晴英会長より、手作りマスクの贈呈を受けました。

伴学区社会福祉協議会の皆様をはじめ、マスク作りにご協力いただいた公民館グループの皆様などに、深く感謝申し上げます。

いただいた「みらいちゃんマスク」は、職員全員に配布させていただき、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

伴学区社会福祉協議会より寄贈いただいた「みらいちゃんマスク」を、実際に手作りしてくださった方が、包括のご利用者の中におられました。

戸山にお住いの、久保光子様です。とても丁寧に、一枚一枚心を込めて縫ってくださった事が伝わり、本当に嬉しくありがたかったです。

皆様のお気持ちに応えるべく、これからもがんばってまいります。

特 養

新入職員紹介



ビデオ通話で
面会しています



来迎 和樹

2月より和楽荘に入社した来迎です。
入居様が安心して過ごせるように、
日々がんばっていききたいと思います。
よろしくお願いします。



白井 美貴

5月に和楽荘に入社しました。
入居様を笑顔に出来る、入居様の良いと
ころを引き出せる、そんな介護職員になりたいで
す。よろしくお願いいたします。

今回の新型コロナウイルス感染症感染拡大
防止のための面会制限にご協力いただき、あり
がとうございます。

すでにご家族には通知させていただいておりま
すが、この度 LINE を使用したビデオ通話による
面会を開始することになりました。

少しでもお顔を見て安心していただけたらと思
っています。こちらからの発信のみとなりますの
で、ご不便な点もあるかと思いますが、ご理解い
ただきご利用くださればと思います。

5階 紫苑・東雲



編み物



鯉のぼり

紫苑・東雲ユニットには普段から趣味で編み物をされる入居様がいっぱいます。今回は5月ということで鯉のぼりを製作されました。とても集中して取り組み、あっという間に1日で完成！！

皆さんの作品をユニットに飾らせていただきました！

完成した鯉のぼりを「あれ私が編んだんよ」と職員、入居様に嬉しそうに披露してくださいました。

次の作品も楽しみにしています！

4階 萌黄 4月のお誕生日会

4月25日に萌黄ユニットで、4月生まれの入居様2名のお誕生日会を開きました。

和楽荘最高齢の山田芳美様「106歳」、向井ヨシエ様「99歳」のお祝いをさせていただきました。職員による出し物で盛り上がった後に、バースデーケーキを囲みお誕生日の歌を皆で歌ってプレゼントを贈りました。

お誕生日の方を代表して山田芳美様より「ありがとうございます。皆さんも元気で頑張りましょう」とのご挨拶で締めくくりました。皆様終始笑顔で、とても楽しいお誕生日会となりました。



3階 浅葱 レクリエーション

浅葱ユニットでは、午後の時間に、ショートステイの相談員を中心に、心身のリフレッシュやリハビリ、余暇の楽しみを目的とした体操やちぎり絵など様々な活動を行っています。

中でも魚の漢字当てゲームでは、スタッフが読めない漢字でも「これはこれよ」とサラッと正解される利用者様もおられます。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で面会や外出、大きな行事が行えなくなっています。利用者様の楽しみが少なくなっている中で少しでも生活に潤いをもってもらえるように、様々な活動を行っていききたいと思います。



デイサービス

「和楽(わら)うデイサービス」和む・楽しむ・笑う



東京オリンピック2020開催に向けて、みんなで壁画を作っていました。残念ながら開催延期となりましたが、壁画は着々と完成に向かっていきます！



レクリエーションの脳トレゲームです。たくさんの文字の中からお題の文字を探します。お互い競い合ったり協力したりと、みんなで楽しんでます。



ネットに風船で作ったボールを繋いで、座ったまま出来る風船バレーです。強く打ってもボールが遠くに行かないので、安心です。



ミシンを使ってマスク作り。「ミシンなんて久しぶり」など会話をしながら作りました。



感染症予防対策として、昼食中も窓を開け、6人掛けを半分の3人で座って食事をしています。



タオルやゴムボールなどを利用した機能訓練の他に、滑りにくいカラーマットを使用して、色の感覚を意識し、歩行バランス能力を向上させる訓練などの導入を検討しています。機能訓練の更なる充実化に努めたいと思います。



春から制服が新しくなりました。相談員・看護職員・介護職員・介助員すべて違う、個性的な制服です。職員一同、気持ちを新たにがんばっていきます！！



佐々木 貴志

地域に愛される施設作りの一員として、スマイル&ハッスルで日々精進していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



瀧中 晴夫

皆様に愛されるように誠心誠意、安全運転に努めてまいります！

問題1の答え
北海道・岐阜

問題2の答え

- ①しんかんせん
- ②てんきよほう
- ③そうりだいじん



新年度を迎え、居宅介護センターでは新しい利用者様との出会いや業務担当の変更など、一年の始まりを感じる日々が続いております。

今年変わった事の一つは制服の着用です。制服には「ドレス効果」と言い、身に着ける事で「求められる役割を果たそう」とする意識が生まれるそうです。

今年の春はプロ野球の開幕延期やお祭りの中止など冴えない事になっていますが、和楽荘のスタッフは新しいユニフォームに着替え、介護のプロとして求められる役割や責任を果たせるよう日々頑張っています。



居宅介護センターの制服はシャープなブラックです！

認知症の人を介護している方へ

新型コロナウイルスに関して、これらを参考にしてみましょう

公益社団法人
認知症の人と家族の会



✔ やってみよう

- ✔ 電話やビデオ通話を使って親しい人と定期的に連絡を取り合しましょう
- ✔ 手洗いを忘れないように家のあちこちに張り紙などをおきましょう
- ✔ 定期的に運動をすることを心掛けましょう。しかし、体の調子を見ながら、やり過ぎないないようにしましょう
- ✔ 「毎日の日課」をできるだけ続けましょう
- ✔ ニュースを見たり読んだりすることは1日1、2回に制限しましょう

✖ 避けましょう

- ✖ 脅かすような方法で手洗いを強要したり、無理やり人との距離を取らせるようなこと
- ✖ 不要なニュースやメディアからの情報
- ✖ 睡眠の問題を引き起こす可能性がある予定外の昼寝や長時間の睡眠
- ✖ 認知症の人が、いつもと違う状況のせいで混乱したり動揺したときに、自分自身も一緒に、動揺してしまうこと

新型コロナウイルスの流行は日本だけでなく、世界中の認知症の方や介護者に大きな試練を与えています。

資料は国際アルツハイマー病協会が発行したパンフレットを意識したもので、認知症の方を介護する方へのメッセージになります。よろしければご参考になさって下さい。 ※認知症の人と家族の会のホームページより抜粋

<http://www.alzheimer.or.jp>

出来る事からはじめよう。フェイスシールド作り



それぞれの机の全面と側面に、飛沫感染防止のためビニールシートを設置しています。

フィジカルディスタンスを取りつつも、心は常にONE チームの和楽荘です。



クリアファイルを利用したフェイスシールドを職員で作成しました。型紙通りに切って滑り止めのスポンジを貼り付け、両側に穴を開けてゴムを通します。

より透明になるように両目の部分に内側から透明梱包用テープを貼っています。

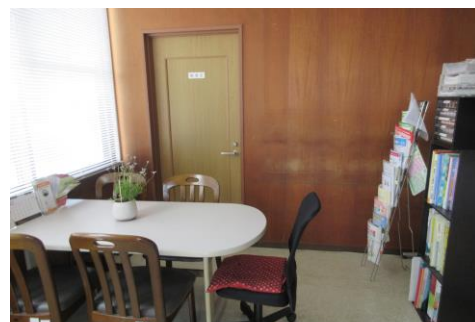


広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター

私たちが皆様のお話を伺います。



新しい相談室が出来ました♪



新型コロナウイルスの感染予防、3密状態を避けるため、事務所を増床し、新たに相談室を設置しました。相談者の皆様が安心して来所できるよう取り組んでおりますので、困りごとがあったら、ひとりで悩まずに相談に来てください。

連載「認知症」



第1回 認知症は他人事ではない!!!

日本は世界でも有数の長寿国。長生きする人が増えたのは喜ばしいことですが…それに伴って増えてきた病気があります。その1つが『認知症』です。

認知症は、加齢、怪我や病気などが原因となって脳が障害される病気です。認知症になると、新しいことを記憶することが難しくなったり、これまで培ってきた知識や技術が失われたり、日常生活にも支障をきたすようになります。

2025年には、軽度認知障害（MCI）も含めると、高齢者の4人に1人が認知症あるいはその予備軍になると言われています。この数字をみると…誰でもかかる可能性がある認知症、もはや他人ごとではなく、自分ごと・社会ごととして、みんなで考えていきましょう。

次号へつづく

～新型コロナウイルスに便乗した詐欺にご注意ください！～

10万円の特別定額給付金が支給されることに対し、給付手続きを装った詐欺被害発生の恐れがあります。市町村職員や総務省の職員が電話で誘導し、ATMの操作を依頼する事はありません！！

また支給にかかる事前の手続きに手数料の払い込みを求める事はありません！！

不審な電話やメールがきたら、ひとりで悩まず相談しましょう！！

警察相談電話 局番なしの「#9110」 消費者ホットライン「188」

Let's 脳トレ!!!

い ほ っ
ふ か ぎ
う ど

問題1

この中に2つの県名があります。
どこどこでしょうか？

問題2

ひらがなを並べ替えると何と
いう言葉が現れるでしょうか？

- ①んんかしんせ
- ②ほうてきよん
- ③だんじりそうい

答えは和楽荘だよりのどこかにあります♪

訪問介護事業部



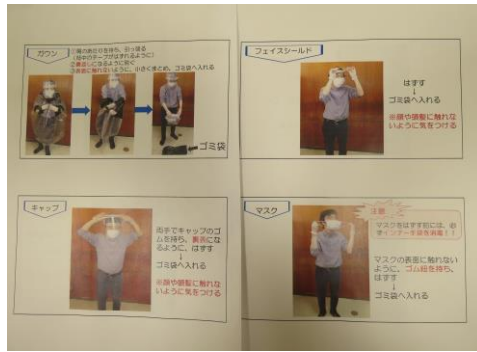
ヘルパーさんの つれづれ日誌

- 本日のお品書き
- ・ハンバーグ
 - ・あぶたま煮
 - ・大根とちくわの煮物
 - ・インゲンと人参の卵とじ



ヘルパーは利用者様のお宅の食材を見て、メニューを決め、料理をしています。
ヘルパーさんが作る美味しい料理をご紹介します！

野菜を中心に、優しい味の料理を作ってみました。
お肉も大切なので、食べやすいハンバーグに。
さまざまな種類の食材を取れるように、色合いや食感も大切にしながら、メニューを考えています。どうぞ召し上がれ♪



ヘルパー研修会



編集後記

今年は新型コロナウイルスによって、私たちの生活にも大きな影響を受けました。

現在も和楽荘は、面会制限を継続しており、皆様にはご迷惑をおかけしております。

和楽会も、感染の蔓延を防ぐため、窓口や事務所内にビニールシートを設置したり、フェイスシールド作りを学んだり、消毒薬やマスクの確保など、様々な部署でそれぞれに出来る対策を心がけています。

和楽荘にコロナを持ち込まないように。

これから先どうなっていくのか、先が見えない不安もありますが、出来る事を精一杯やりながら、和楽荘らしく笑顔でありたいと思っています。

少しでも皆様に和楽荘の今をお伝え出来ることを願って…
5 1 号をお届けいたします。

毎月 1 回行われるヘルパー研修会。

今月のテーマは「新型コロナウイルス感染症予防対策」として、広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センターの保健師が講師となり、利用者宅での対応で注意すべきこと、感染症が疑われる場合に使用した防護具脱衣の手順など、緊張感の中で実践を踏まえた内容の研修でした。これからも研修を重ね、より安全に訪問出来るように心がけてまいります。



制服が変わりました♪

訪問介護事業部全員が集まったの集合写真です。

ユニフォームが新しくなり、より一層チームとしての意識が高まったように感じます。

このメンバーが、様々な在宅の利用者様宅を訪問し、ケアに努めています。

どうぞよろしくお願いいたします。



シバザクラ

戸山方面を車で走っていると、山の法面にシバザクラが綺麗に植えられています。

思わず見とれてしまいそうなほどの美しさです。

訪問の途中に見かけた、素敵な景色などをご紹介します！

